

2024 年 10 月 10 日
野村資産形成研究センター
研究員 藪内大助

1 万人アンケートに見る性別・年代・年収別エンゲージメント状況

野村資産形成研究センターにおいては、従業員 1,000 名以上の上場企業の従業員 1 万名に対し「ファイナンシャル・ウェルネス（お金の健康度）2023」*を実施しました。

以下は当該アンケート結果からの分析になります。

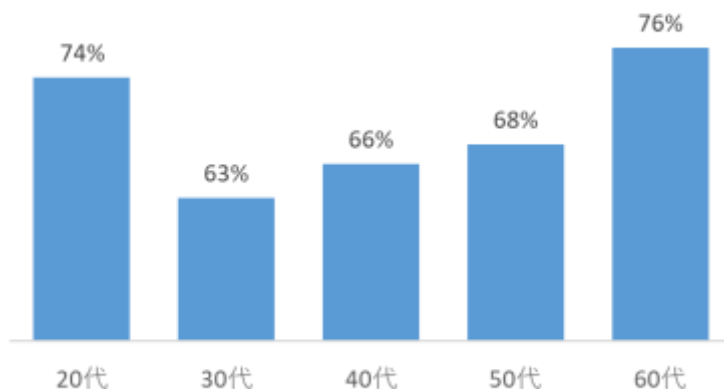
今回は、エンゲージメントについて見ていきます。

なお、アンケートでは「あなたは今の勤務先の社員であることを誇りに思いますか。」と訊いており、本コラムではこれに対する回答をエンゲージメント状況として捉えています。

性別および年代別でエンゲージメントしている割合の結果です。

男性の場合、20 代は高いものの 30 代で下落し、その後は年代を追うごとに高くなっていき、60 代が一番高くなる、という結果になっています。

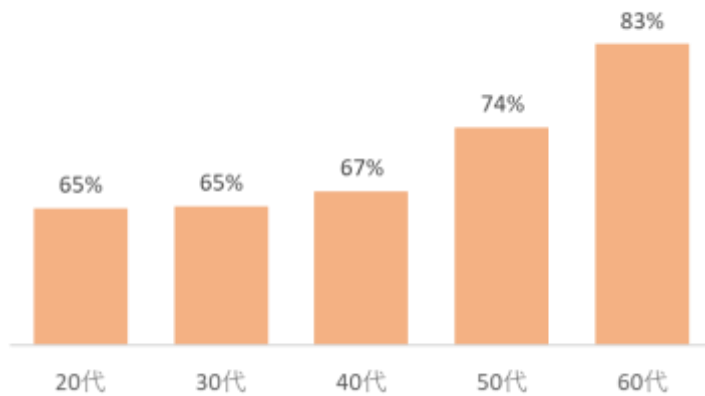
年代とエンゲージメント（男性）



一方、女性の場合は 20 代から徐々に上昇し、やはり 60 代が一番エンゲージメントしている割合が高くなっています。

また、男女で比べると 20 代を除いて、女性の方がどの世代でもエンゲージメントしている割合が高い、という結果になっています。

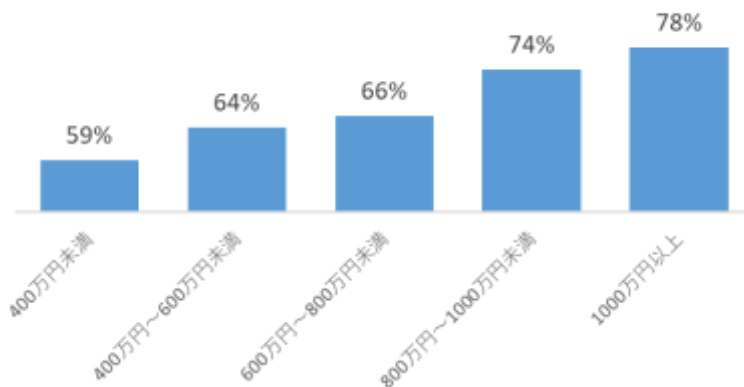
年代とエンゲージメント（女性）



次に年収別でのエンゲージメント状況を見てみます。

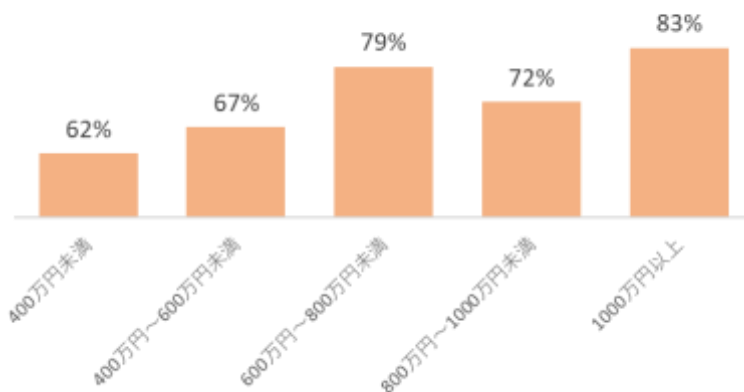
男性の場合、下記の通り年収とエンゲージメントしている割合は比例関係にあることが見て取れます。

年収とエンゲージメント（男性）



女性の場合は、年収 600 万円～800 万円の部分で一旦ピークを打ち、その後年収 1,000 万円以上で再び上昇しています。

年収とエンゲージメント（女性）



また、男女で比較すると年収 800～1,000 万円以外では女性の方がエンゲージメントしている割合が高くなっています。

このように、セグメント毎にエンゲージメント状況は異なることから、エンゲージメントを高める施策を行われる際には、総花的な施策を行うのではなく、まずは現状把握・分析を行い、セグメント毎のプランを行われることが重要です。

* ファイナンシャル・ウェルネス（お金の健康度）アンケート

調査方法：WEB アンケート

調査期間：2023 年 10 月 3 日（火）～2023 年 10 月 13 日（金）

調査対象（回答者数）：従業員数 1,000 人以上の上場会社従業員（11,052 名）